

5月23日 木 2019

名古屋大学減災館 1階 減災ホール

18:00-19:30

※予約不要・入場無料



武田 真一

宮城教育大学 特任教授
(前河北新報社防災・教育室長)

東日本大震災から8年が経過し、被災地では「伝承」と「記録と教訓に基づく防災啓発」が大きな課題だ。それは南海トラフ巨大地震などに備える地域に対する責務でもあり、産学官民・メディアが連携し、総掛かりで取り組むべきテーマになる。地元紙河北新報社の取り組みを軸に、宮城で進む連携の現状と課題を報告する。

東日本大震災 「伝承と防災啓発」の未来 産学官民・メディア連携の視点から